

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立翼東小学校

令和 4 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

(生活面)

- ・学校全体でポジティブ行動支援等に取り組んだ結果、主体的に行動できる児童が増え、きまりを守り、互いを尊重し、楽しく学校生活を過ごすことができる児童が育ちつつある。
- ・ポジティブ行動支援の取り組みや特別活動の活性化により徐々に自己肯定感が高まりつつある。引き続き児童会活動や学級活動を充実させ、児童が活躍できる場を設けるとともに、キャリア教育など将来の目標を持たせるきっかけとなる取り組みを進めていく。
- ・自分の感情をコントロールしたり、思いをうまく伝えられなかつたりすることがトラブルへと発展してしまうケースがある。個に応じた支援をさらに進める必要がある。
- ・SNS上での誹謗中傷やオンラインゲーム上でのトラブルが増加している。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、学校に登校しづらくなる児童が増加している。

(学習面)

- ・小学校学力経年調査の結果を見ると、学年・教科によっては大阪市平均に近づいているものもあるが、依然として学力差が大きく、特に低位層の割合が高い。学習意欲の高まりはうかがえるが、学習習慣や読書習慣等の定着などには2極化がみられる。
- ・国語科の研究を進めた結果、物語文の「読み」を通して自分の考えを進んで表現できる児童が増えた。引き続き、国語科を中心に授業研究に取り組むなど、教員の授業力の向上に努める。
- ・放課後学習教室などの補充学習の成果が表れ、基礎学力の定着がみられる児童もいるが、主体的に学習に取り組む意欲や態度には差がある。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりを進めるとともに、ICTの活用や教科横断的な学習などを取り入れ、個別最適な学びや協働的な学びを進める必要がある。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、運動する機会が減り、体力の低下が顕著に表れている。

中期目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%（R3:83.3%）以上にする。
- ・毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を毎年、前年度より減少させる。
- ・毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を前年度より向上させる。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じ

て、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上(R3:33.2%)にする。

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上(R3:73.3%)にする。
- ・令和7年度の全国体力・運動能力調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を73%以上(R3:68.4%)にする。
- ・令和7年度の校内アンケートにおける「積極的に手を挙げて授業に参加していますか」の項目について「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%(R3:74.9%)以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- ・学習者用端末を活用した家庭学習を週に1回以上実施する。
- ・ゆとりの日を月に1回設定・実施する。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上(R3:73.9%)にする。
- ・令和7年度全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、10% (R3:2.6%) 以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

- ・令和5年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和4年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。
- ・令和4年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、前年度より増加させる。

学校園の年度目標

- ・令和4年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を前年度より向上させる。
- ・令和4年度の小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

- ・令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、

自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。

- ・令和4年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・令和4年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・令和4年度の全国体力・運動能力調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

学校園の年度目標

- ・令和4年度の校内アンケートにおける「積極的に手を挙げて授業に参加していますか」の項目について「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を76%（R3:74.9%）以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- ・学習者用端末を活用した家庭学習を月に2回以上実施する。
- ・ゆとりの日を月に1回設定・実施する。

学校園の年度目標

- ・令和5年度全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、5%（R3:2.6%）以上にする。
- ・令和4年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上（R3:73.9%）にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立巽東小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった		達成状況
年度目標		
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】		
全市共通目標（小学校） <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 令和4年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。 令和4年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、前年度より増加させる。 		
学校園の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を前年度より向上させる。 令和4年度の小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。 		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめや暴力行為、不登校を生まない学校づくりを進める。また、諸問題の早期発見、早期対応を進めるために学校全体で組織的な対応を行う。		進捗状況
指標 <ol style="list-style-type: none"> 生活指導部会を月一回実施し、情報の共有や対応についての協議を行い、職員会議で伝達することで共有を行う。 学期に1回実施するいじめアンケートのデータを活用し、いじめ対策委員会でいじめの対策について協議する。 不登校の児童が学校に登校しやすいように小会議室を利用し、不登校等対策委員会を中心に学習の補助やメンタル面でのサポートを学校全体で取り組む。 		
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 自ら考え行動し、主体的に学校のきまりを守ろうとする子どもを育てる。		

指標

- ①児童会による「あいさつ運動」を学期に1回実施する。
- ②児童会で全校児童に時間を守る大切さを伝える取組を年1回実施する。
- ③児童会で全校児童に「服装を整えよう」の取組を年1回実施する。
- ④エビデンスベースの学校改革研修会を複数回実施する。
- ⑤ポジティブな行動支援に関する取組を学校全体で行う。

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

児童会活動や縦割り活動、学級活動などを充実し、一人一人が活躍する場を多く取り入れることで自己有用感を育む。

指標

- ①各学級で朝の会や終わりの会等で児童のがんばりを発表しあう場を設ける。
- ②全校オリエンテーリングやたてわり班活動を通して、他学年との交流を行う。
- ③学級活動を通して、ペア学年で年2回以上、交流活動を行う。
- ④学級活動の校内研修会を1回実施する。

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】

各教科の学習をはじめ、総合的な学習や特別活動において、体験活動、言語活動、ICT等を活用した活動等を通して教科横断的な学習を進め、児童自らが、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく資質や能力を育成する。

指標

- ①毎月、児童が一人一台端末を活用する機会を設ける。
- ②教科横断的な学習の取り組みとして、年に一度は、各学年SDGsに取り組む。
- ③各学年の実態に応じた多文化共生教育を、年に一度取り組む。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立巽東小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。 令和4年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 令和4年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 令和4年度の全国体力・運動能力調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の校内アンケートにおける「積極的に手を挙げて授業に参加していますか」の項目について「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を76%(R3:74.9%)以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 習熟度別少人数指導をはじめとする授業形態の工夫や放課後学習等を通して、基礎基本の学力の定着を図る。</p> <p>指標</p> <p>①3年生以上の各学級の実態に応じて、算数科の学習において多様な授業形態を学期に複数回取り入れる。また、国語科の学習において多様な授業形態を一年に一回実施する。 ②高学年で教科担任制を実施する。また、6年生で算数科の専科を導入する。 ③学校力アップサポーターによる放課後学習教室で補充学習の機会を設け、個に応じた基礎基本の学力の定着を図る。 ④学力向上推進委員会を月に一回実施し、学年付き担当による算数科及び国語科のサポートの充実を図る。</p>	

取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

校内研究や研修を充実させ、教員の指導力向上を図ることを通して「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進める。

指標

- ①研究教科である国語科の授業研究会6回と校内研修会1回を実施する。
- ②メンター研修を月1回実施する。
- ③各教員が授業研究を実施し、研鑽を深めるために、低・中・高の討議会を設ける。

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

休み時間や放課後等を活用し運動する機会を増やすとともに、体育科の授業内容の工夫を進めることを通して、体力の向上を図る。

指標

- ①運動委員会による体力向上の取組（翼東小ギネス記録会）を年2回実施する。
- ②なわとびカードやかけ足カードなど学習カードを活用し、運動する意欲を高める。
- ③体育科実技研修会を実施する。

取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】

感染症をはじめとする病気や学校内外でのけがを予防するとともに、健全な食生活に対する理解を深めることを通して心身の健康の保持・増進を図る。

指標

- ①養護教諭による感染症の予防に関する保健指導を年2回実施する。
- ②保健委員会によるせいかつしらべを月1回実施する。
- ③学期に1回給食もりもりカードを用いて残食を減らす取組を行うとともに、給食委員会による呼びかけを行う。

取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】

学校の環境美化や施設の整備、備品の整理等を行い、子どもが学びに向かおうとする学習環境づくりをすすめる。

指標

- ①環境委員会による掃除週間の取り組みを年1回以上実施し、学校美化の意欲を高める。（異学年そうじ交流や掃除チェックカードの活用）
- ②教室掲示や机・椅子の環境整備を中心としたユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境づくりをすすめる。
- ③そうじの仕方、正しいそうじ道具の使い方、用具の片付け方を視覚化したり、動画を作成したりして、児童自身が学校美化に取り組みやすい環境を整える。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立巽東小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none">・学習者用端末を活用した家庭学習を月に 2 回以上実施する。・ゆとりの日を月に 1 回設定・実施する。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">・令和 5 年度全国学力・学習状況調査の「5 年生のときに受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、5% (R3:2.6%) 以上にする。・令和 4 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80% 以上 (R3:73.9%) にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>1 人 1 台端末の環境を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け取り組む。</p>	
<p>指標</p> <p>①プログラミング教材を活用した学習を取り入れ全学年で 1 回以上実施する。</p> <p>②協働学習支援ツールを用いた学習を週 4 回実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の働き方改革を進める。</p>	
<p>指標</p> <p>①仕事を分担できる支援体制をつくることで、時間外勤務の時間を昨年度より削減する。</p> <p>②教職員が計画的に業務を行う上で、ゆとりの日を年 20 回設定・実施する。</p> <p>③週を低中高にわけて、日々の業務を効率よく作業を進められる体制をつくる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館や学級文庫、区の図書館等を積極的に活用し、読書習慣の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>①図書館コーディネーター等による図書館開放や読み聞かせを週に 4 日実施する。</p> <p>②生野図書館の団体貸し出しを学期に 1 回活用するとともに、学級文庫の充実を図る。</p> <p>③図書委員会による低学年の読み聞かせとおすすめの本の紹介を、それぞれ学期に</p>	

1回行う。

④図書館ボランティアによる各学年の読み聞かせを年1回実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点